

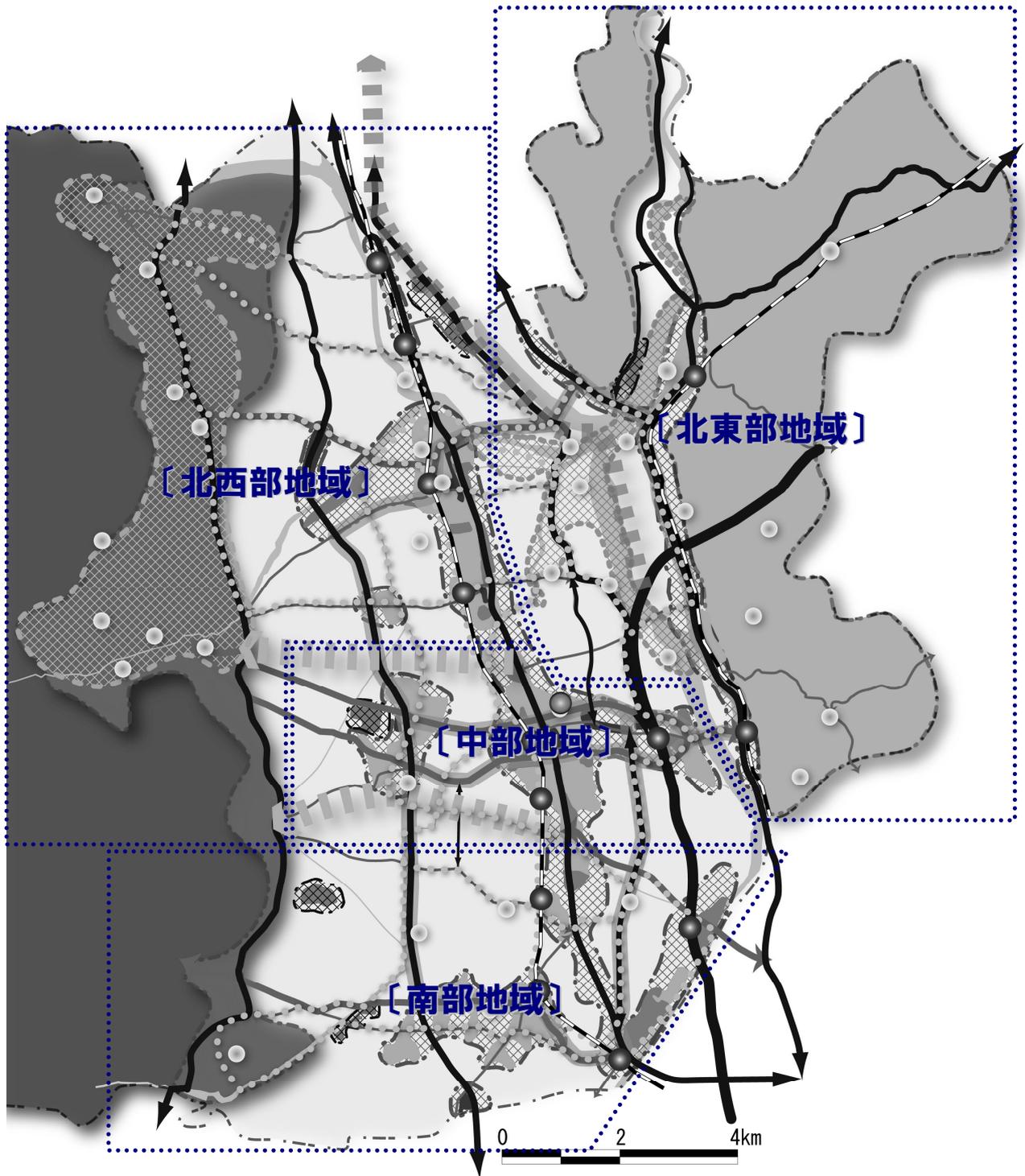
第5章 地域別のまちづくり構想

本章では、本市を4つの地域に区分し、それぞれの特色をふまえて、地域別により詳細なまちづくり構想を示します。

第5章 地域別のまちづくり構想

5.1 地域区分

地域別構想は、5つの地域区分に捉われず、地理的な特性や都市機能のつながりやまとまりをふまえ、市内をおおまかに4つの地域（下図）に区分したうえで、全体構想の詳細版として示します。



※上図に示す地域の境界は厳密に区分されるものではありません。

図 地域別のまちづくり構想における便宜的な区分

5.2 北東部地域

〔地域の特徴・資源の活用ポイント〕

- ・東山山麓の荒廃桑園や森林空間に点在する観光資源の有効活用
- ・河川や湧水、水辺空間の多面的な活用

§ 1. 地域づくりの目標・方針

きれいな水や変化に富んだ地形を活かし、水辺や森林の魅力と親しめる地域づくり

●人口誘導の方針

市街地への居住の誘導と定着

●商業振興の方針

既存市街の商業機能の保持と穂高・豊科市街との連携強化による商業機能の補完

●観光振興の方針

河川や森林等多様な環境を活用した体験型レクリエーション等地域資源の有効活用と相互の連携による観光的魅力の向上

●工業振興の方針

立地条件や地域資源を活かし、環境と調和のとれた新たな産業の創出

§ 2. 土地利用の方針

- 森林・河川の自然環境や平坦地に広がる優良な農地の保全

- 土砂災害や水害等、災害の危険性等の立地条件をふまえた計画的な宅地誘導

- 駅を中心とした市街地への商業店舗の集約、田園地帯の良好な景観と調和しない沿道店舗の立地抑制

- 既存の工業団地における工場集積の維持、地域資源を活用した新たな産業用地の確保

§ 3. 都市施設整備の方針

- 「東の玄関口」となる明科駅周辺の整備による交通拠点機能の強化

- 地域の基幹軸となる国道 19 号の歩道整備、交通が集中する交差点の改良

- 各所に点在する観光施設やレクリエーション施設等への分かりやすい案内・誘導



地域の特徴・資源

- 遠方に北アルプス、眼下に安曇平を一望できる河岸段丘の上部、山頂(光城山・長峰山)からの眺め
- 三川合流部付近に展開する水を活かした産業(養魚、わさび田など)やレクリエーション(釣り、カヌー等)
- 市街地对岸の整備された工場団地
- 複数の幹線道路(国道 19 号、国道 403 号、県道 51 号大町明科線等)が結節する交通の要所
- 長野駅や東京駅に市内から最短(特急利用)でアクセスすることができる明科駅
- 市街地内にある水辺に親しめる公園(あやめ公園・龍門淵公園)
- 市街地内に集積している各種公共施設(支所、図書館、消防署、高校、中学校、小学校等)

- 都市機能の集積・拡張を図り、将来的に市街地を形成するゾーン
- 工場等の集積・拡張を図り、産業立地の核とするゾーン
- 良好な営農環境や田園に調和した集落の維持・継承を図るゾーン
- 山林の保全及び散在する観光資源の有効活用を図るゾーン
- 河川や湧水がつくり出す水辺空間の有効活用を図り、安曇野の水文化の拠点として育てるゾーン
- 市内交通の南北の骨格として機能強化を図る路線(南北軸)
- 市内交通の東西の骨格として機能強化または新規整備を図る路線(東西軸)
- 本庁舎を中心に、東西南北の路線を介して、5つの拠点市街をつなぎ、市全体の都市機能の補完・連携を図る路線(循環軸)
- 観光・レクリエーション拠点をつなぎ、歩行者や自転車が安全・便利で、美しい景観を満喫できる路線(回遊軸)
- 広域交通の基幹軸として有効活用する路線
- 「地域高規格道路」として新規整備が予定されている路線(南北軸)

- 交通の結節点としての機能強化を図る駅または高速道路 I.C.
- 利用者ニーズに応じて整備の充実を図る観光・レクリエーションの拠点
- 各地域の行政サービスの核となる支所
- 主として住宅系用途を誘導する区域
- 主として商業系用途を誘導する区域
- 主として工業系用途を誘導する区域

5.3 北西部地域

〔地域の特徴・資源の活用ポイント〕

- 温泉や美術館等多様な観光資源を有する高質な森林空間の活用
- 各地に点在する観光資源の有機的な連携

§ 1. 地域づくりの目標・方針

安らぎのある森林空間、歴史・文化の香り漂う雰囲気を活かし、観光・交流の魅力にあふれる地域づくり

●人口誘導の方針

多様な居住空間（利便性の高い市街地、緑豊かな田園集落、閑静な森林別荘地等）への適正な居住誘導

●商業振興の方針

駅前通り沿い・国道147号沿道、広域農道沿道の商業店舗の集積を核とした商業機能の維持・強化

●観光振興の方針

西山山麓をはじめ、各所に点在する観光資源の連携強化による一体的な観光地形成

●工業振興の方針

良好な田園環境や森林環境の魅力を活かした新たな産業の創出

§ 2. 土地利用の方針

●西山山麓の森林保全と観光・保養のための有効活用

●幹線道路沿い等郊外への開発の拡散防止

●市街地内の空地や農地への計画的な開発誘導による土地利用の促進（無秩序な宅地開発の抑制）

●良好な環境を求める業種業態（企業の研究・開発部門等）のニーズにも対応できる産業用地の確保

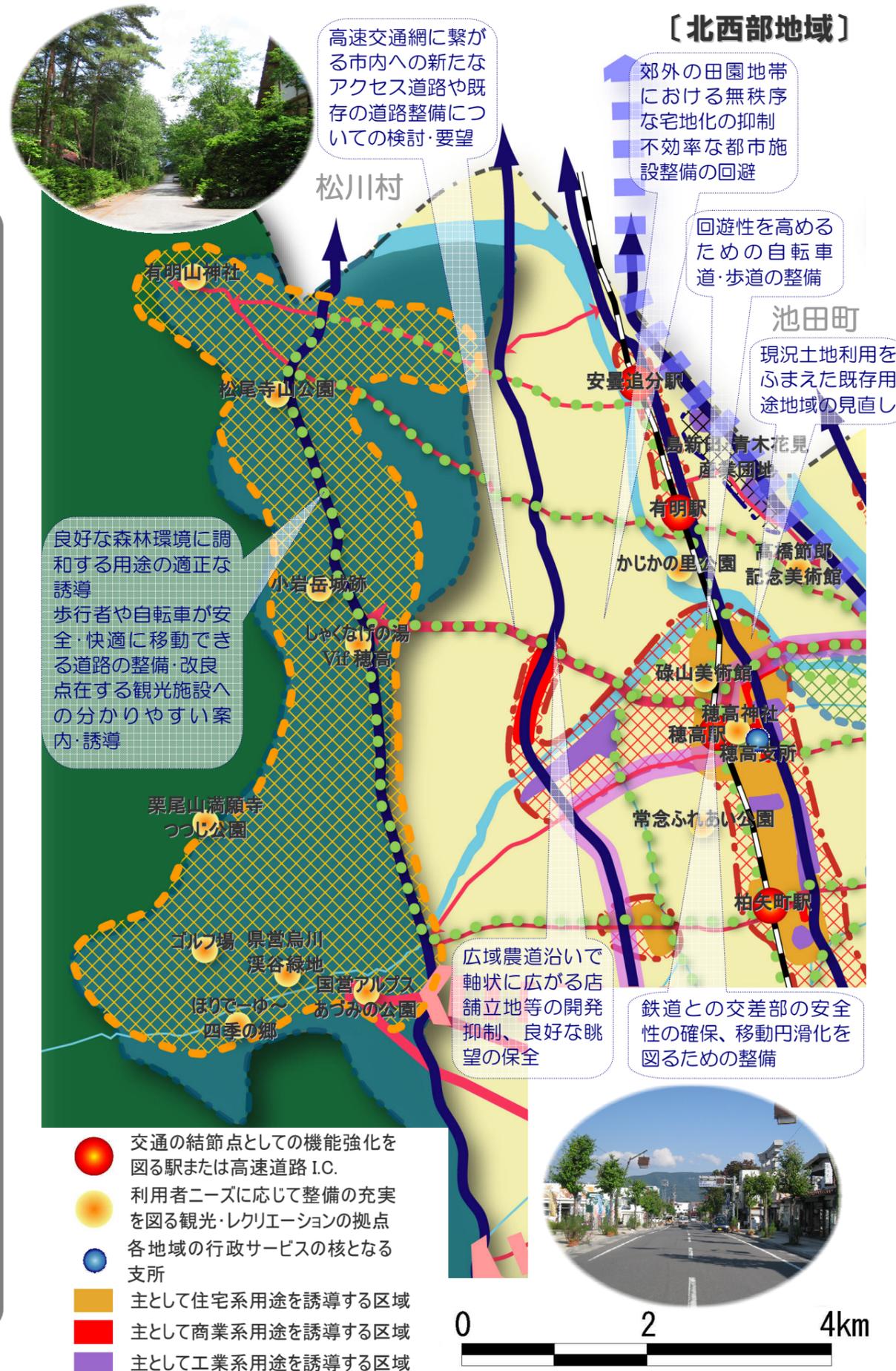
§ 3. 都市施設整備の方針

●交通が集中する市街地内の幹線道路における移動の円滑化・安全性の向上のための整備・改良

●良好な景観や各所に点在する観光資源を安全・快適に回遊して楽しむことができる動線の整備

●観光拠点となる駅等における情報提供機能の強化

●市街地居住の魅力の向上や防災に資する機能の充実した公園・緑地の整備



地域の特徴・資源

- 西山の山麓傾斜地に広がるアカマツ林、その樹林地帯に形成された温泉観光地・別荘地
- 烏川沿いに連なる帯状の樹林帯、市街地内のまとまった緑（穂高神社）
- 各所に点在する美術館・博物館、それらによって醸し出される芸術・文化の香り
- 市街地内の旧街道沿いに残る蔵造りの建物
- 国道147号沿いに集積している大型商業店舗
- 一定の整備が施された市街地内の2つの駅（穂高駅・柏矢町駅）及び各駅前通り
- 市街地内を流れる水路（矢原堰）
- 山麓にある2つの大規模公園（国営アルプスあづみの公園、県営烏川溪谷緑地）

- 都市機能の集積・拡張を図り、将来的に市街地を形成するゾーン
- 工場等の集積・拡張を図り、産業立地の核とするゾーン
- 良好な営農環境や田園に調和した集落の維持・継承を図るゾーン
- 山麓の良好な森林空間や温泉等の資源を活かし、観光・保養空間としての質を高めるゾーン
- 北アルプスに通じる山岳地帯の自然環境の保全を図るゾーン
- 河川や湧水がつくり出す水辺空間の有効活用を図り、安曇野の水文化の拠点として育てるゾーン
- 観光資源の集積を活かし、相互に連携を図り、一体的に魅力を高めるゾーン
- 市内交通の南北の骨格として機能強化を図る路線（南北軸）
- 市内交通の東西の骨格として機能強化または新規整備を図る路線（東西軸）
- 本庁舎を中心に、東西南北の路線を介して、5つの拠点市街をつなぎ、市全体の都市機能の補完・連携を図る路線（循環軸）
- 観光・レクリエーション拠点をつなぎ、歩行者や自転車が安全・便利で、美しい景観を満喫できる路線（回遊軸）
- 広域交通の基幹軸として有効活用する路線
- 「地域高規格道路」として新規整備が予定されている路線（南北軸）

- 交通の結節点としての機能強化を図る駅または高速道路I.C.
- 利用者ニーズに応じて整備の充実を図る観光・レクリエーションの拠点
- 各地域の行政サービスの核となる支所
- 主として住宅系用途を誘導する区域
- 主として商業系用途を誘導する区域
- 主として工業系用途を誘導する区域

5.4 中部地域

〔地域の特徴・資源の活用ポイント〕

- 各種公共施設や商業施設、事業所等多くの人々が集う都市施設の集積
- 市の骨格となる東西・南北の主要幹線

§ 1. 地域づくりの目標・方針

都市機能の集積を活かし、住む人、働く人、訪れる人の多様なニーズに応えられる地域づくり

●人口誘導の方針

都市機能が集積している市街地への積極的かつ計画的な居住誘導

●商業振興の方針

広域的な商圈の核として、集客力の高い大型小売店舗や飲食店舗等の集積の魅力を活かした商業機能の強化

●観光振興の方針

広域からの自動車交通の玄関口として、来訪者の期待に応えるもてなしの空間づくり

●工業振興の方針

安曇野 I.C.への近接性等、優れた立地条件を活かした工業振興

§ 2. 土地利用の方針

● 良好な田園風景（大規模な優良農地や屋敷林のある集落）の保全

● 市の中心的な業務地区として、本庁舎、県安曇野庁舎、警察署、消防署、総合病院、近代美術館等の公共施設が集中している地区への都市機能の集積

● 防災機能の強化や賑わい創出を図るための密集市街地における土地区画整理や街路整備等の事業の促進

● 既存工場の拡張や新たな事業用地の確保に際しての迅速な対応と環境への配慮との両立

§ 3. 都市施設整備の方針

● 本庁舎を核に、業務地区としての機能や利便性の向上に資する道路の整備・改良

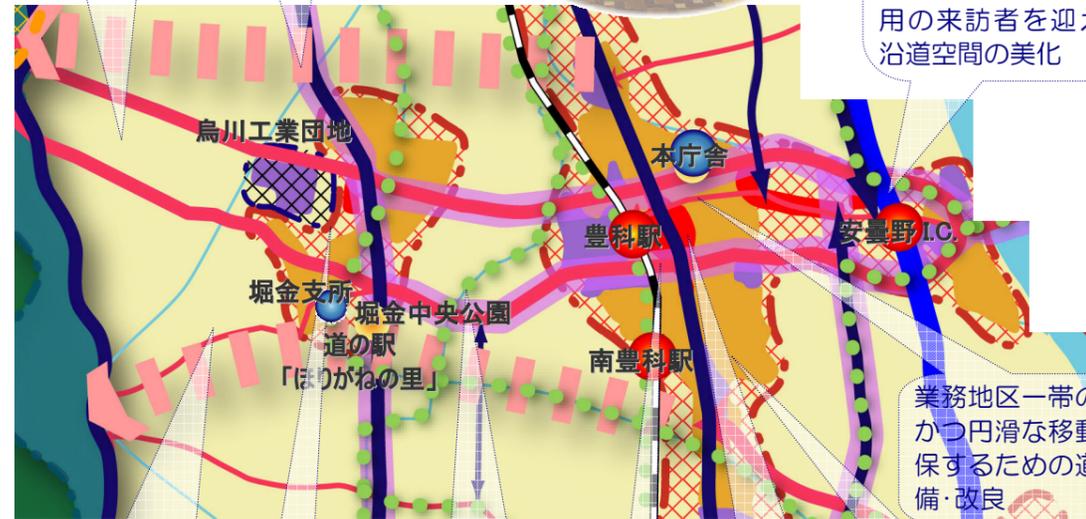
● 通勤・通学の主要な動線となる道路の安全性向上のための整備・改良

大規模公園や西山山麓に形成された観光・保養地への主要な動線となる道路景観の保全

広域農道沿いで軸状に広がる店舗立地等の開発抑制、良好な眺望の保全

〔中部地域〕

安曇野 I.C.周辺の計画的な開発
高速バス利用者の駐車場整備
広域からの自動車利用の来訪者を迎える沿道空間の美化



循環軸を形成する豊科・堀金の両市街を結ぶ東西基幹軸の機能強化を図るための新たな幹線道路の整備

堰沿いの歩道・自転車道のネットワーク整備（駅との接続性、回遊性の確保）

現況土地利用をふまえた既存用途地域の見直し

密集市街地における土地区画整理や街路整備等の事業の促進、建物の不燃化や沿道緑化の推進

用途地域の設定による計画的な土地利用誘導

- 交通の結節点としての機能強化を図る駅または高速道路 I.C.
- 利用者ニーズに応じて整備の充実を図る観光・レクリエーションの拠点
- 市全体の行政サービスの中核となる本庁舎
- 各地域の行政サービスの核となる支所
- 主として住宅系用途を誘導する区域
- 主として商業系用途を誘導する区域
- 主として工業系用途を誘導する区域

豊科駅周辺、駅前通り、国道 147 号沿道商店街の改善、賑わいの創出



- #### 地域の特徴・資源
- 農地を潤し、豊かな農業生産を支える堰、良好な眺望景観を楽しむことができる水路沿いの歩道・自転車道（拾ヶ堰）
 - 屋敷林に囲まれた集落と田園との景観的調和
 - 低層化や周囲の緑化等によって、周囲の景観に配慮してつくられた工場
 - 用途地域や地区計画等により、計画的に誘導・整備されてきた住宅団地や工業団地
 - 市の中央部にあって、本庁舎をはじめ、官公庁、総合病院、大規模商業店舗等が集積し、業務地区を形成している豊科市街
 - 豊科市街の横丁や小路に発達した飲食店舗街
 - 市内外からの高い集客力を誇る堀金中心部の道の駅、大規模商業店舗
 - 広域からの自動車利用の来訪者の玄関口となる安曇野 I.C.、同 I.C.から豊科市街までの沿道に形成された飲食店街
 - 東西交通の基幹となる複数の幹線道路

- 都市機能の集積・拡張を図り、将来的に市街地を形成するゾーン
- 工場等の集積・拡張を図り、産業立地の核とするゾーン
- 良好な営農環境や田園に調和した集落の維持・継承を図るゾーン

- ⇄ 市内交通の南北の骨格として機能強化を図る路線（南北軸）
- ⇄ 市内交通の東西の骨格として機能強化または新規整備を図る路線（東西軸）
- 本庁舎を中心に、東西南北の路線を介して、5つの拠点市街をつなぎ、市全体の都市機能の補完・連携を図る路線（循環軸）
- 観光・レクリエーション拠点をつなぎ、歩行者や自転車が安全・便利で、美しい景観を満喫できる路線（回遊軸）
- 広域交通の基幹軸として有効活用する路線
- ⇄ 市内交通の東西の骨格として機能強化または新規整備を図る路線（東西軸）

- 安曇野 I.C.、駅等来訪者の玄関口となる空間の魅力高めるための整備
- 災害時における主要な緊急輸送路の機能強化
- 市街地内の生活に身近な公園・緑地の整備

5.5 南部地域

〔地域の特徴・資源の活用ポイント〕

- ・松本市街にアクセスしやすい立地条件
- ・市街地内にある都市施設（駅、高速道路 I.C.、公園等）や工業団地・住宅団地に整備された既存の都市基盤の有効活用

§ 1. 地域づくりの目標・方針

松本市への近接性や市街地内の都市施設を活かし、居住性に優れた地域づくり

●人口誘導の方針

利便性の高い市街地への計画的な居住誘導（高い居住需要への適切な対応）

●商業振興の方針

充実した商業機能を有する近接の市街（豊科・堀金・松本）との連携・補完を念頭にした商業機能の確保

●観光振興の方針

室山一帯を中心にした長期宿泊・滞在型の観光地づくり

●工業振興の方針

梓川スマート I.C.へのアクセス等優れた立地条件を活かした工業振興

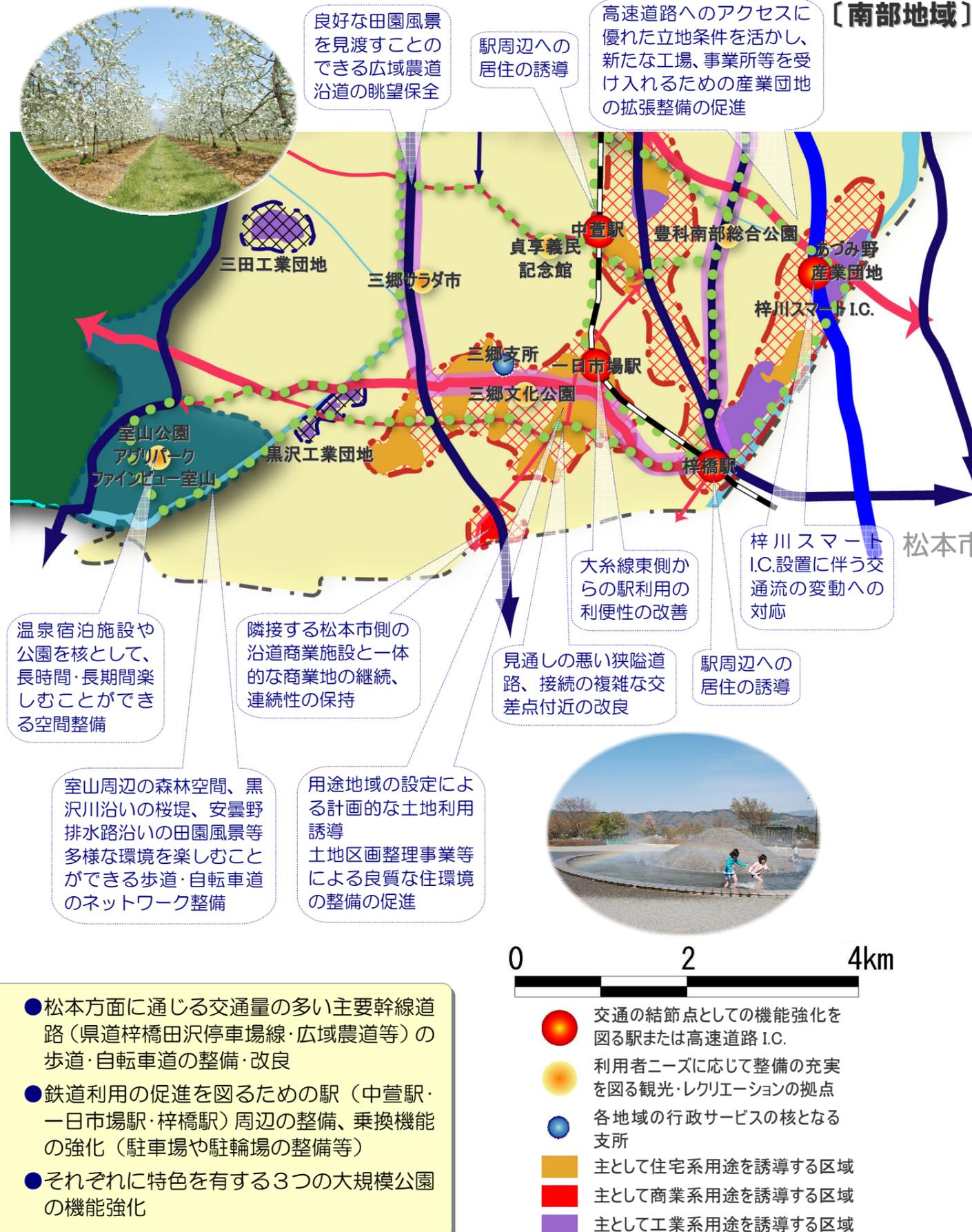
§ 2. 土地利用の方針

- 平坦地で比較的大規模なまとまりのある田畑、南西の傾斜地に展開している果樹園等優良な農地の保全
- 農地への無秩序な宅地の拡散抑制
- 居住需要に応えるための新たな住宅団地の計画的な整備、適正な場所への開発誘導

- 市街地内における用途の混在回避
- 市街地の居住機能の向上に資する駅周辺への商業店舗の誘導・集約
- 道路等の都市基盤の整った既存の工業団地・産業団地の拡張

§ 3. 都市施設整備の方針

- 市街地内の複雑な道路形状の改良



〔南部地域〕

地域の特徴・資源

- 広域農道や大系線等沿道・沿線から眺めることができる北アルプスの美しい山並みと田園風景
- 黒沢川沿いの桜堤や古くからの集落内にある屋敷林等良好な景観を構成する緑
- 室山一帯に集積した観光施設（公園、温泉付宿泊施設、ワイナリー等）
- 松本市との近接性（道路4方向、鉄道1方向からのアクセス）
- 高速道路（梓川スマート I.C.）へのアクセス性が高いあづみ野産業団地
- 人口増加の傾向と比較的高い居住需要
- 機能・特徴がそれぞれ異なる3つの大規模公園（豊科南部総合公園・三郷文化公園・室山公園アグリパーク）

- 都市機能の集積・拡張を図り、将来的に市街地を形成するゾーン
- 工場等の集積・拡張を図り、産業立地の核とするゾーン
- 良好な営農環境や田園に調和した集落の維持・継承を図るゾーン
- 山麓の良好な森林空間や温泉等の資源を活かし、観光・保養空間としての質を高めるゾーン
- 北アルプスに通じる山岳地帯の自然環境の保全を図るゾーン
- 市内交通の南北の骨格として機能強化を図る路線（南北軸）
- 市内交通の東西の骨格として機能強化または新規整備を図る路線（東西軸）
- 本庁舎を中心に、東西南北の路線を介して、5つの拠点市街をつなぎ、市全体の都市機能の補完・連携を図る路線（循環軸）
- 観光・レクリエーション拠点をつなぎ、歩行者や自転車が安全・便利で、美しい景観を満喫できる路線（回遊軸）
- 広域交通の基幹軸として有効活用する路線

- 交通の結節点としての機能強化を図る駅または高速道路 I.C.
- 利用者ニーズに応じて整備の充実を図る観光・レクリエーションの拠点
- 各地域の行政サービスの核となる支所
- 主として住宅系用途を誘導する区域
- 主として商業系用途を誘導する区域
- 主として工業系用途を誘導する区域